

科目名	母性看護学援助論 I (周産期医療ケア) Perinatal Mother & Child Assistance		担当教員 (研究室番号)	永見 桂子 (102) 大平 肇子 (104)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	永見:keiko.nagami@mcn.ac.jp 大平:motoko.oohira@mcn.ac.jp					
履修 年次	1年次 前期	科目 区分	専門科目		選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
												遠隔授業
科目 目的	周産期医療ケアにおける最新知識・技術、ガイドラインについて学び、関連する最新のエビデンスを獲得する方法を理解する。周産期にある母子とその家族へのプライマリーケアおよびクリティカルケアの役割と専門性、周産期ケアシステムとその組織化に関する理論と実際、周産期の母子をまもる保健政策・母子保健行政について学び、看護のあり方を探究する。											
ディプロ マ・ホリ ーン (DP)	主要なDP	7. 看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。										
	関連する DP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。										
到達 目標	1. 周産期医療ケアにおけるエビデンスの活用、ガイドラインとその意義について理解することができる。 2. 周産期ケアシステムとその組織化、母子保健行政・看護政策立案について理解することができる。 3. クリティカルケアを受ける周産期の母子とその家族への看護のあり方について理解することができる。											
成績評価方法 (基準)	レポート(50点)、プレゼンテーション(40点)、ディスカッションへの参加状況(10点)											
教科書	必要時、紹介します。											
参考書等	必要時、紹介します。											
受講者への メッセージ	主体的・積極的な取り組みを期待します。											
備考												
回	学習項目		学習内容					主担当 教員	授業 方法			
1回	周産期医療・看護の歴史的・文化的背景①		出産をめぐる文化・社会と歴史的背景、出産の医療化・施設化と出産のつらさの変化、母子保健に関する指標と動向を概観し、周産期医療ケアにおける課題を見出す。					永見	講義			
2回	周産期医療・看護の歴史的・文化的背景②		周産期医療ケアにおける課題をとりあげ、プレゼンテーションとディスカッションをとおして、周産期にある母子とその家族への看護のあり方について検討する。					永見	演習			
3回	周産期医療ケアとエビデンスに基づく実践(EBP)①		EBPのプロセス、実践方法について理解し、周産期医療ケアにおけるEBPの適用について学ぶ。					大平	講義			
4回	周産期医療ケアとエビデンスに基づく実践(EBP)②		EBPによる周産期医療ケアの実例をとりあげ、プレゼンテーションとディスカッションをとおして、研究の運用とEBPとの相互関係に関する理解を深める。					大平	演習			
5回	周産期医療ケアにおける各種ガイドラインとその意義①		プライマリーケアとクリティカルケアの観点から、周産期医療ケアにおける各種ガイドラインの意義について学ぶ。					永見	講義			
6回	周産期医療ケアにおける各種ガイドラインとその意義②		周産期医療ケアのガイドラインをとりあげ、プレゼンテーションとディスカッションをとおして、周産期にある母子とその家族の意思決定支援について理解を深める。					永見	演習			
7回	周産期ケアシステムとその組織化に関する理論と実際①		周産期救急医療提供体制、周産期医療施設・地域間の協力体制、周産期医療ネットワークなど多様な健康状態にある母子や家族への支援に必要な社会システム構築について学ぶ。					永見	講義			
8回	周産期ケアシステムとその組織化に関する理論と実際②		母子・家族への継続支援と地域における子育て世代包括支援システム、産後ケア事業など切れ目ない母子や家族への継続支援に必要な社会システム構築について学ぶ。					大平/学外 協力者	講義			
9回	周産期医療ケアにおける看護政策の課題と看護政策立案①		周産期医療ケアにおける専門看護師の役割と実践活動、自律と裁量権などの視点から看護政策の課題と看護政策立案、看護職の社会参画について学ぶ。					永見	講義			
10回	周産期医療ケアにおける看護政策の課題と看護政策立案②		周産期にある母子をまもる保健政策・母子保健行政、周産期医療の安全とリスクマネジメント、周産期医療ケアの質保証について学び、高度実践看護の役割への理解を深める。					永見	演習			
11回	クリティカルな状況にある母子とその家族の看護①		クリティカルケアを受ける周産期の母子とその家族の健康問題をアセスメントするための理論、危機状態への援助方法を学ぶ。					永見	講義			
12回	クリティカルな状況にある母子とその家族の看護②		精神的なリスクのある周産期の母子とその家族の健康問題をアセスメントするための理論、援助方法を学び、体験事例をもとに意思決定の擁護と代弁者役割について検討する。					永見/学外 協力者	演習			
13回	クリティカルな状況にある母子とその家族の看護③		社会的なリスクのある周産期の母子とその家族の健康問題をアセスメントするための理論、援助方法を学び、体験事例をもとにケアチームの連携・協働について検討する。					大平/学外 協力者	演習			
14回	クリティカルな状況にある母子とその家族の看護④		子どもを亡くした親とその家族の健康問題をアセスメントするための理論、援助方法を学び、体験事例をもとに悲嘆反応への援助について検討する。					大平	演習			
15回	周産期医療ケアの充実と将来展望		母性看護学領域におけるプライマリーケアとクリティカルケアの観点から周産期医療ケアの充実に向けた課題と看護が果たすべき役割と専門性について展望する。					永見	講義			